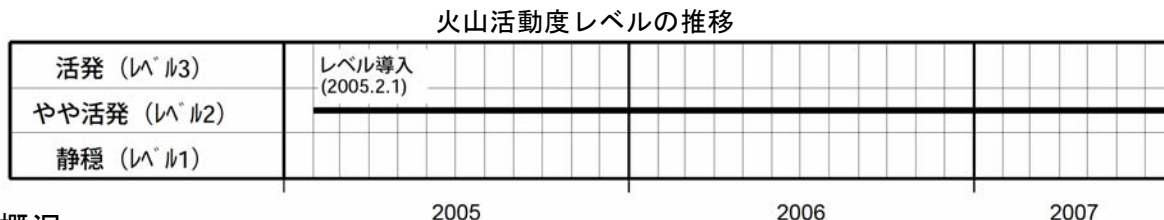


薩摩硫黄島

○ 火山活動評価：やや活発な状況（レベル 2）

噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

2005 年 2 月 1 日の導入以降、レベル 2 が継続しています。



○ 概況

・ 噴煙活動（図 2）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しています。

噴煙は白色で、高さは概ね 100m（最高高度は 300m）で推移しました。

・ 地震、微動活動（図 2、図 3）

地震活動はやや活発な状態で経過しています。

火山性地震の月回数は 186 回（6 月：169 回）とやや多い状態が続いています。

継続時間の短い火山性微動は 3 回（6 月：2 回）発生しました。

火山性連続微動は観測されませんでした。

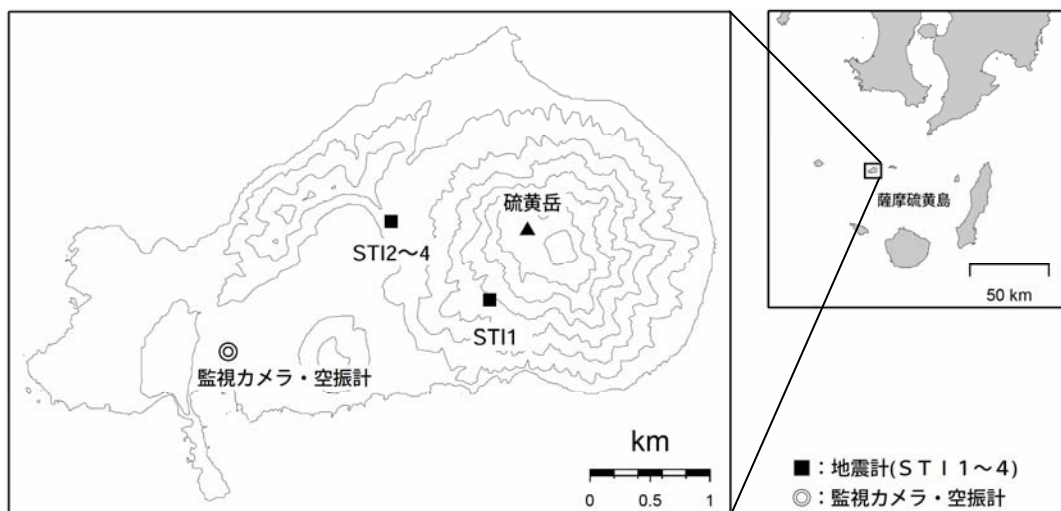


図 1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

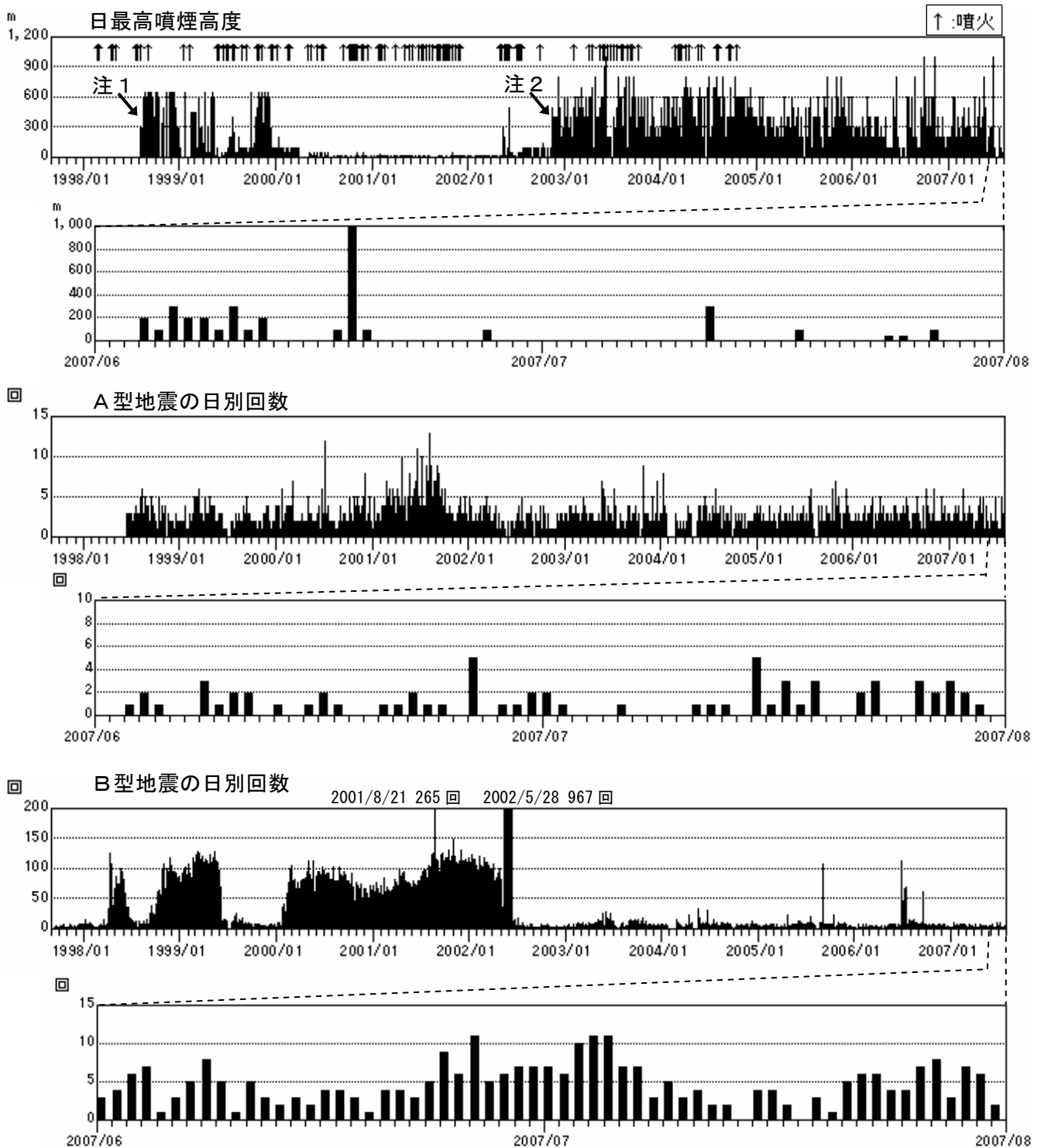


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1997年9月10日～2007年7月31日)

- ・噴火はありませんでした。
- ・噴煙高度の最高は12日の火口縁上300m(6月:1000m)でした。
- ・A型地震は36回(6月:32回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・B型地震は150回(6月:137回)で、大きな変化はありませんでした。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

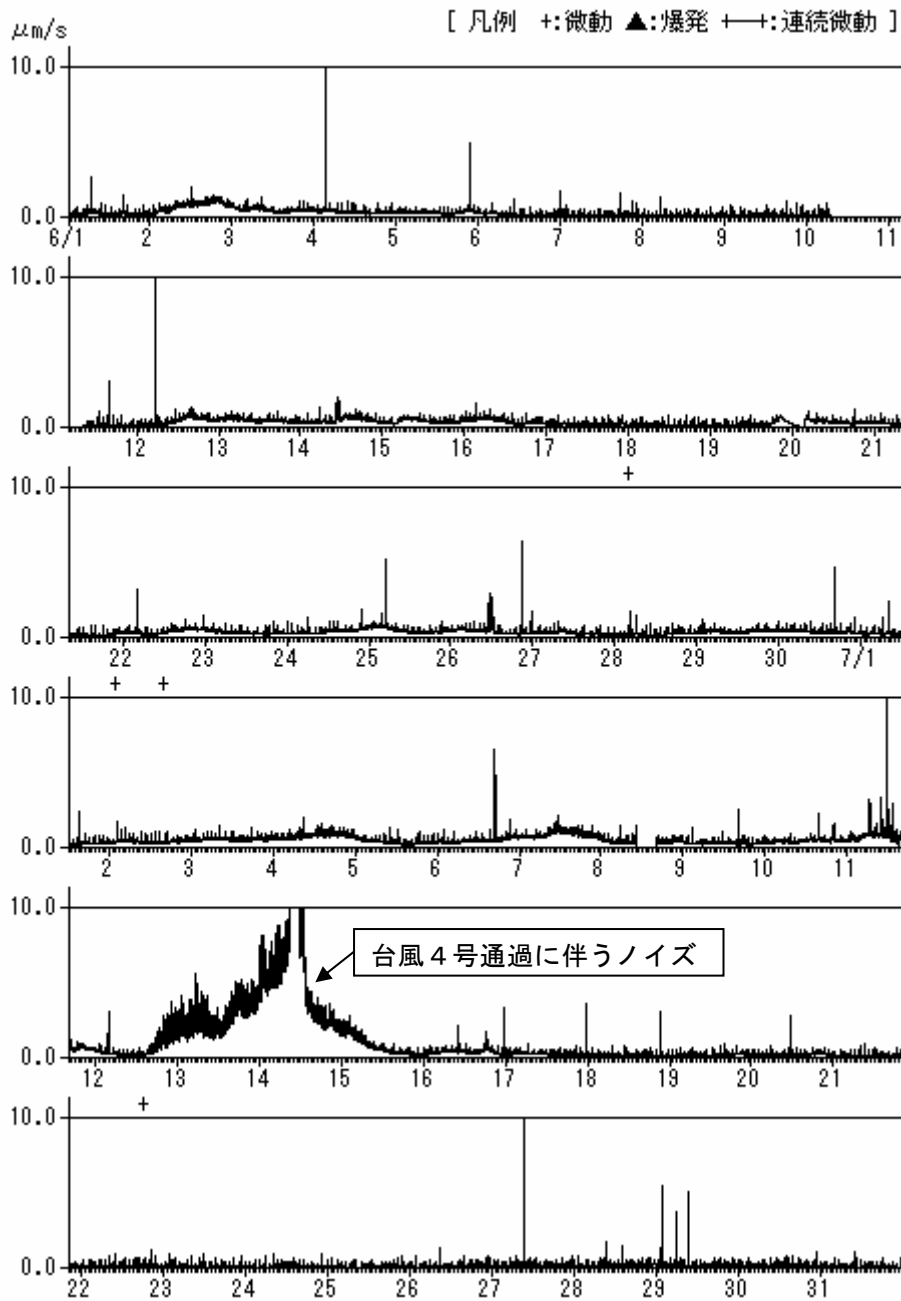


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化（STI1 上下成分）（2007年6月1日～7月31日）

- ・火山性連続微動は観測されませんでした。
- ・継続時間の短い火山性微動は3回発生しました。